

## 会議録

会議の名称	平成23年度 第4回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	平成23年10月24日（月曜日） 午後1時00分から午後3時00分まで
開催場所	西東京市 保谷庁舎別棟 A会議室
出席者	委員：赤澤委員長、中平副委員長、朝井委員、仲川委員、武藤委員、石原委員、鈴木委員、谷関委員、西田委員、古谷委員 事務局：宮寺生活文化スポーツ部長、南里文化振興課長、林文化振興課文化振興係長、渡部文化振興課文化振興係主任 支援業者：小野崎、室井、増原（記録）（パンフィックコンサルタンツ株式会社）
議題	1：新任の委員へ依頼状の交付 2：第3回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について 3：パブリックコメントの公表について 4：計画素案の提案について 5：計画の進行管理について 6：その他
会議資料の名称	1. 平成23年度西東京市文化芸術振興推進委員会名簿（新） 2. 第3回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録 3. パブリックコメントにおける回答の変更点 4. 西東京市文化芸術振興計画（案） 5. 計画の進行管理の考え方（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録      発言者の発言内容ごとの要点記録      会議内容の要点記録

## 会議内容

### 開会

#### ○委員長：

本委員会は全員出席しており、定足数を満たしているので、議事を進めることとする。

#### 議題1 新任の委員へ依頼状の交付

生活文化スポーツ部長より新任の武藤委員へ、依頼状を交付

#### 議題2 第3回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について

委員長から資料2に基づき説明

委員各位より承認された。

#### 議題3 パブリックコメントの公表について

事務局から資料3に基づき説明

今回のパブリックコメントの結果を受けて、委員より意見が出た。

- ・ パブリックコメントでは、「計画の目玉となる施策がない。アンケート調査等がどこに活かされたのかわからない。計画の具体的な施策とその管理がわからない。」という市民からの意見があった。市の事業案内や、文化芸術活動への市民参加の機会づくりを兼ねた、本計画の目玉となるイベントが必要なのではないか。
- ・ 子供の「感性」を育てるような取り組みを行うことは大切だと思う。子供達が芸術家の作品に触れる機会を多く持つことが重要で、それには学校との連携や教育委員会の協力が必要であると思う。現状では、児童・生徒の安全上の観点から、学校の行事以外の引率は難しく、連携の機会がない。
- ・ パブリックコメントで寄せられた市民からの意見を、本計画にどのように反映させるかということが重要と考える。

#### ○事務局：

- ・ 本計画の策定は、本市における文化芸術を推進する方向性や、課題と施策を結び付けた全容を明らかにすることから始まると考えている。施策における具体的な事業は、計画の中に明記している「推進する取組」にある、市民のニーズを把握する仕組み等を活用して、幅広い意見を取り入れながら進めていきたいと思う。
- ・ 目玉となるイベントを実施することが計画策定の目的ではなく、推進する取組がゆくゆくは本市の文化芸術を支える目玉事業となるような計画の策定を目指したいと考えている。

#### 議題4 計画素案の提案について

事務局から資料4に基づき説明

素案におけるパブリックコメントに基づき、計画案を作成した。計画案について、本議題で意見を伺い、更に何かある場合は10月末までに事務局へ出してほしい。

(委員より意見)

- ・ 委員が個別に意見を出すのではなく、議論の中から意見を出すことが委員会開催の趣旨であると考えます。
- ・ 本計画は市の文化芸術振興の道筋を示すもので、具体的な施策を今後議論するならば、その趣旨を説明する文章を本計画に記載したほうがよいのではないかと。計画と聞くと、実施計画をイメージすると思う。
- ・ 本計画は、文化芸術を推進するための取り組みや考え方の方向性を定めたものであると理解している。様々なテーマの文化芸術関連のアイデアが提案された時に、その主旨に沿った市民への支援ができる体制があることは大切である。
- ・ 本計画は、今後の西東京市の文化芸術における施策の道しるべとなるものなので、非常に大切な意味を持っていると思う。更に、市民から具体的な施策に関する意見も出ているので、本計画の策定と同時に、実施計画及び各事業の展開が示せるとよいと思う。
- ・ 本計画の趣旨からすると、「基本構想」や「推進計画」という名称にしたほうがよい。

本計画の名称は「西東京市文化芸術振興推進計画」と変更することについて、委員会より事務局へ提案された。

事務局：

- ・ 本計画は、本市の文化芸術振興における取り組みの方向性や道筋を示したもので、「前期・中期・後期」と段階ごとにアクションプランを進めながら取り組みを進めていくことを考えている。
- ・ アクションプラン（実施計画とその事業展開）については、本委員会に今後提案して、検討・協議することを予定している。
- ・ 計画の名称変更については、委員会の意見を汲むことができるように検討する。

#### 議題5 計画の進行管理について

事務局から資料5に基づき説明

(委員より意見)

- ・ 進捗状況は何をもって、評価するのか。
- ・ 本委員会でPDCAサイクルによる進行管理を行うのか。
- ・ 計画の実施に当たっては、市内で活動している人たちの意見を取り込むことが重要である。様々なニーズ把握が進め方のタイプ2に属しているが、これらはできるだけ早く取り掛かる必要がある。

事務局：

- 事業の実施状況を把握しながら評価する予定である。本計画の取組の多くは、ソフト事業の取組なので、その成果を評価することは難しいと思う。
- PDCAサイクルによる進行管理は、庁内検討会とあわせて、本委員会も行う予定である。

議題6 その他

閉会